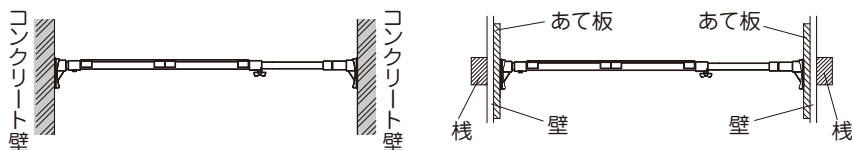


■取付寸法：118 cm～190 cm ■棚全奥行き(約)：33.5 cm ■棚部奥行き(約)：30.5 cm ■耐荷重：50 kg～18 kg

取扱説明書

取り付けのできる場所

コンクリート壁や柱、壁材と下地に十分な強度がある所。
ボードやベニヤなどの弱い壁は、下地に棧のある場所や壁面を市販の木板などで補強して取り付けください。斜面や湾曲面、凸凹のある壁面には設置できません。

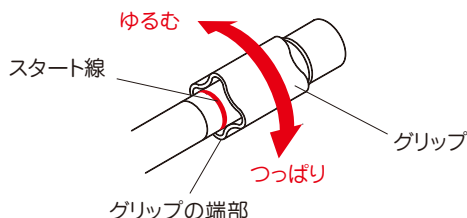


△ 取り付け上の注意事項

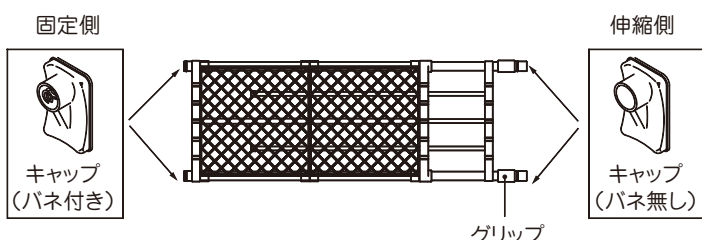
- この商品は屋内用です。
- 壁面を強力につっぱって取り付けますので、取り付け跡が残る場合があります。支障の無い所で使用してください。
- 高温となる所、屋外や直射日光の当たる所、浴室や湿度の高い所、水が掛かる所には使用しないでください。
- 万が一に備え、貴重品、危険物、破損の恐れのある物の周囲、燃焼器具、発熱器具、水道の蛇口の上や常時人がいる上には取り付けないでください。
- 分解や改造はしないでください。
- 水平(壁面に垂直)に取り付けてください。
- 表示の取り付け範囲内で取り付けください。
- 長さ固定ねじは根元までしっかり締めてください。不十分な場合、棚が落下する原因になります。
- 取り付け後、状態の確認をしてください。

■ 取り付け方法

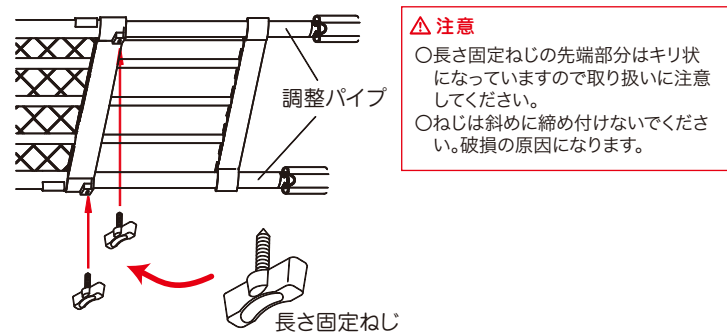
1 グリップを「つっぱり」の方向に回し、グリップが動くことを確認します。次に「ゆるむ」の方へ回し、グリップの端をスタート線の位置に戻します。必要以上の戻しすぎは破損の原因になります。



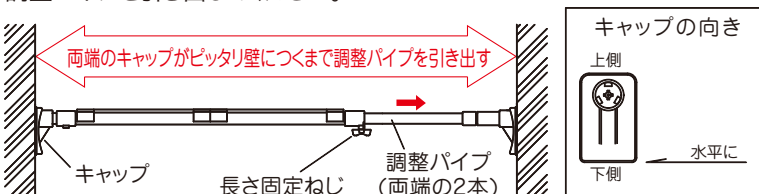
2 本体へキャップを取り付けます。バネ付きとバネ無しの二種類(各2個、計4個)がありますので、確認してから取り付け下さい。バネ付きを固定側へ、バネ無しを伸縮側へしっかりはめ込みます。



3 棚の下図2箇所に長さ固定ねじを2～3回転ほど軽く回し仮付けしておきます。(この時、回しすぎると調整パイプが引き出せなかったり、傷が付きますので注意してください)

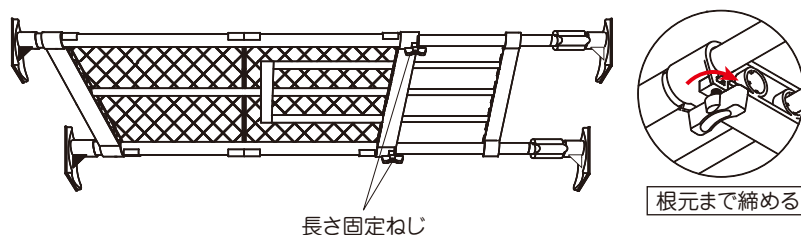


取り付ける壁間一杯に(両端のキャップがピッタリ壁につくまで)調整パイプを引き出してください。

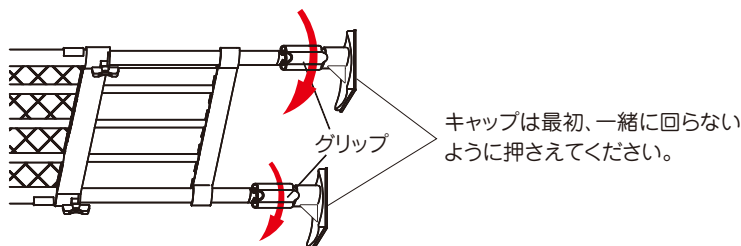


注意：①棚は長さ固定ねじ側が下になるように取り付けください。
②図のようにキャップには上下があります。棚を設置したとき、下が長くなる向きに取り付けてください。

4 長さ固定ねじを根元までしっかりと締め付けてください。調整パイプに穴が開いて、長さが固定されます。(ねじの固定はキャップが壁にピッタリついた状態のまま行ってください。)

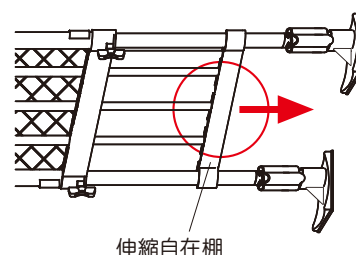


5 グリップをシール表示の「つっぱり」の方向に回し、圧着固定します。棚は水平(壁に垂直)に取り付けてください。また、圧着力(取り付け力)を均等にするために2箇所のグリップは均等に回してください。




注意：壁を破損しないように状態を確認しながらグリップを調節してください。
注意：「ストップ線」の表示を超える場合は、取り付け方法に誤りがあるか取り付け場所に適していないことがあります。取り付け場所を再確認し、手順1からやり直してください。

6 しっかりと取り付けられているか、軽く揺すって確認してから使用してください。用途に応じて、伸縮自在棚部分を引き出してご使用ください。



参考耐荷重

- 耐荷重は圧着力が不足する場合や取り付け幅、壁の材質、施工状態により減少します。
- 表示耐荷重は実験値であり保証するものではありません。

取り付け幅118cmの時  **50kg**まで
 取り付け幅190cmの時  **18kg**まで

△ 使用上の注意事項 ※注意事項は必ずお守りください。

- 直射日光の当たる所、高温となる所、また浴室のような湿度の高い所では使用しないでください。(劣化やサビの原因になります。)
- 必ず表示耐荷重の範囲内で使用してください。
- 荷重が1箇所に集中しないように分散して物を載せてください。
- 急激に荷重を掛けたり強く引っ張る、揺する、ぶら下がるなどの行為は落下やケガの原因になります。
- 万が一に備え、危険物、貴重品、破損の恐れのあるものなどは載せたり、掛けたり、周囲に置いたりしないでください。
- 消臭剤、芳香剤、化粧品、整髪料、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、油脂、有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)の付着は変質劣化の原因となります。万一つ着した場合は直ちに取除いてください。
- 汚れは、水で薄めた中性洗剤で拭き取り、洗剤分が残らないよう拭き取った後、乾いた布で拭き取ってください。たわし、磨き粉で磨くと傷が付きやすくなります。
- パイプ表面に傷が付きますと汚れの浸透やサビ発生の原因になります。
- 樹脂部品は特性上、油の付着や紫外線により劣化が生じます。
- 商品に破損や変形等が生じましたら、危険ですので直ちに使用を中止してください。
- パイプに防錆油が付着していることがあります。使用には問題ありませんが衣服等に付く恐れがありますので拭き取ってから使用してください。
- 取り付け2～3日後、また週に1回程度定期的に取り付け状態を確認してください。
- 天災などの不可抗力や改造、経年劣化、製品本来の用途から逸脱した使用による故障、破損、事故に対する補償は致しません。

材質表示	
パイプ	鉄・エポキシ樹脂粉末塗装
樹脂部品	ABS樹脂・PP樹脂・合成ゴム
ねじ類	鉄・メッキ

※製品については万全を期しておりますが、万一不良品などがございましたら、お手数ですが右記連絡先までご連絡ください。品質向上のため予告なく仕様および外観を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

HEIAN SHINDO 平安伸銅工業株式会社
 TEL 06-6228-8986
 9:30～17:00(土・日・祝日は除く)
<http://www.heianshindo.co.jp/>

DESIGNED IN JAPAN 270618M
 MADE IN CHINA

